


23. 長野県野沢温泉村


対象地域	長野県 野沢温泉村全域			
申請主体	一般社団法人 野沢温泉マウンテンリゾート観光局			
計画名	野沢温泉オーバーツーリズム対策計画			
観光客データ		令和31年	令和5年	令和6年
	入込観光客数(千人)	701	597	715
	- 国内	-	-	-
	- 訪日外国人旅行者	120.820	4.574	100.978
地域の特徴・観光資源等	<ul style="list-style-type: none"> 野沢温泉村は国内有数の豪雪地帯であり、温泉観光を中心に、冬季においてはスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツが盛ん。オリンピックフィールドにするなど国内外からの評価の高いスノーリゾート地であり、国内・訪日外国人両方の旅行者でにぎわう。 野沢温泉村へのアクセスは、北陸新幹線の飯山駅からバス「野沢温泉ライナー」が運行し、旅行客の多くはこのバスを利用するが、最近ではレンタカーの利用も増えている。 			
	<p style="text-align: center;">協議の場</p> <p style="text-align: center;">野沢温泉オーバーツーリズム対策協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業はDMO主要5団体で連携して行う。 観光業従事者が全体の8割であり、5団体での連携を持って、地域住民の意向も踏まえた検討・協議が可能である。 			
協議体制	参加者			
	<p>行政機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 野沢温泉村 <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元団体（商工会、旅館組合、スキー場） のざわ温泉交通 J R東日本（予定） 	<p>有識者等</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都立大学 清水哲夫教授 <p>住民関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元団体（商工会、旅館組合、スキー場） 		

エリアマップ


野沢温泉スキー場

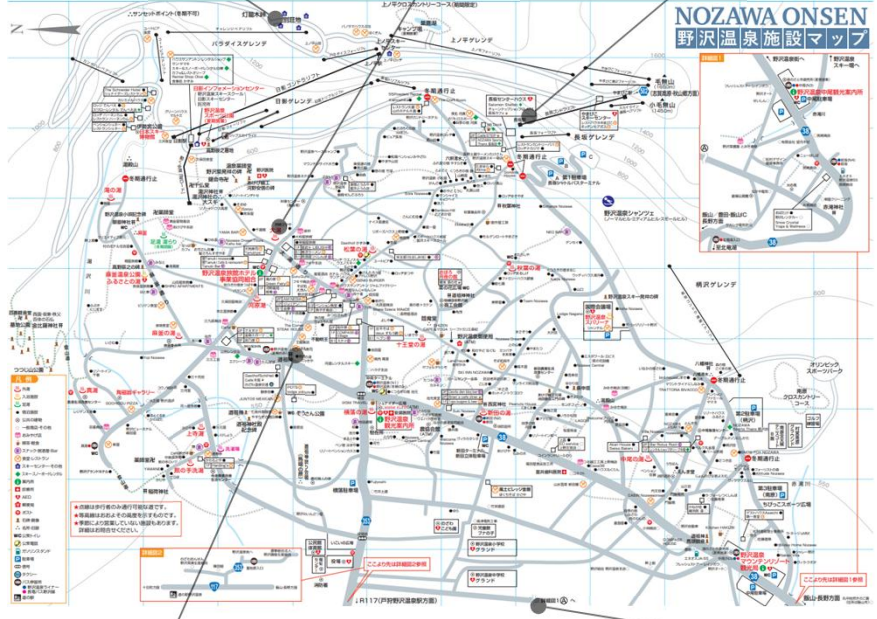


13の外湯/温泉文化




長坂ゴンドラ






**NOZAWA ONSEN
野沢温泉施設マップ**



野沢温泉中央バスターミナル



谷地系の温泉街エリア

2. 課題

	主な現状・問題点	影響を受けている主な対象
1. 公共交通事業の担い手の不足、公共交通の混雑、自動車依存	<ul style="list-style-type: none"> 野沢温泉村でバス・タクシー事業を営む「のざわ温泉交通株式会社」では、ドライバー不足と働き方改革に伴う国の指導により事業を縮小している。例えば、タクシーの営業時間は8:00～18:00となり、朝や夜間における公共交通による移動サービスが途絶えている状況にある。 訪日外国人旅行者も多く利用する「野沢温泉ライナー」では、ピーク時間帯では乗り切れない状況も発生、新幹線に間に合わなかった、といった意見も挙がり、リゾート地としての信頼性低下にもつながっている。 上記のとおり今後も公共交通の利便性低下が想定され、それに伴い自動車来訪が増加、小さな道で構成される村の中心地では、自動車によって交通安全の低下や街で過ごす快適性が損なわれ、リゾート地としてだけでなく居住エリアとしての魅力も低下する懸念がある。 	国内外の観光客 地域住民
2. 観光客のマナー問題	<ul style="list-style-type: none"> 特に訪日外国人旅行者による、ごみのポイ捨て、夜間の騒音（夜飲みによる深夜の大声での会話）、レンタカーの違法駐車による除雪の妨げなどが発生し、地域住民に迷惑が生じている。 村の主要産業が観光事業であり、リゾート地としてのブランド価値を高めたい一方で、地域住民との共存のバランスが課題となっている。 	地域住民
3. 関係者が一体となりモビリティに対して協議する場がない	<ul style="list-style-type: none"> オーバーツーリズムに起因するモビリティ（観光交通や地域の公共交通）に関する様々な問題が生じているものの、村内の交通状況、村民や観光客の移動実態も把握されず、モビリティに関する現状診断が行われていない。また、村内関係者が一体となりモビリティが抱える問題に対処・議論する場がなく、地域が連携して施策を講じる体制が整っていない。 さらに、オーバーツーリズム対策を講ずる先にある、リゾート地としての将来の野沢温泉村のあるべき姿が関係者間で共有されておらず、一致団結した取組ができていない。 	国内外の観光客 地域住民

① 冬季シャトルバスを待つ観光客の待ち行列の状況



② 村内の落書き
日本語でないものも散見される



③ 村のメインストリートである大湯通りの自動車流入の様子
(生活交通のほか、冬季は観光のクルマが多く通行する)



3. 背景・要因

主な背景・要因

1. アクセス方法の多様化

- 野沢温泉村は国内有数の豪雪地帯であり、温泉観光を中心に、冬季においてはスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツが盛ん。オリンピックもフィールドにするなど国内外からの評価の高いスノーリゾート地であり、国内・訪日外国人両方の旅行者でにぎわう。
- 野沢温泉村へのアクセスは、北陸新幹線の飯山駅からバス「野沢温泉ライナー」が運行し、旅行客の多くはこのバスを利用するが、最近ではレンタカーの利用も増えている。

2. 季節変動性と訪日外国人旅行者の急増

- 観光入込客数のうち、毎年50%以上がスキー観光により構成されており、一方で温泉観光を中心としたスキー観光以外の観光入込客数は年間25万人前後で安定している。
- 野沢温泉村の宿泊者数のうち外国人は3割ほど、野沢温泉村の訪日外国人旅行者の延べ宿泊数は、松本市、軽井沢町、長野市に次ぐ、長野県内4位である。



暮らし / 2025.03.20

“ニセコ化”した野沢温泉村で「夕食難民」が続出...「予約なしではどこにも入れない」「従業員も外国人ばかり」「もはや日本じゃない」



集英社オンライン編集部ニュース班

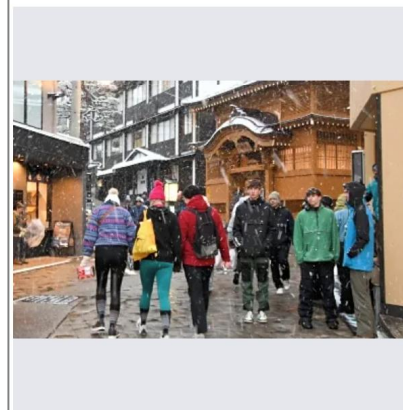
https://shueisha.online/articles/-/253412#goog_rewarded

移住したくても「家が見つからない」...訪日客に沸く野沢温泉、物件「争奪戦」になる特別な事情

2024/02/08 06:05

f シェア X ポスト B! ブックマーク

記事をクリッピング



外国人観光客でにぎわう温泉街＝1日、野沢温泉村

趣のある建築の外湯（共同浴場）が点在する路地を、外国人観光客が行き交う。温泉やスキー場が国際的に知られる下高井郡野沢温泉村。観光立村を支えるのが、冬場に多い外国人客の存在だ。

宿泊施設でスタッフとして働く菅田(こんだ)貴子さん(32)は、活気あふれる温泉街の様子とは裏腹に、浮かない表情で言う。「家が見つからないんですね」

京都市出身。子どもの頃からスキー競技に打ち込み、何度も訪れた村に愛着を抱いて昨

<https://www.shinmai.co.jp/news/article/CNTS2024020701133>

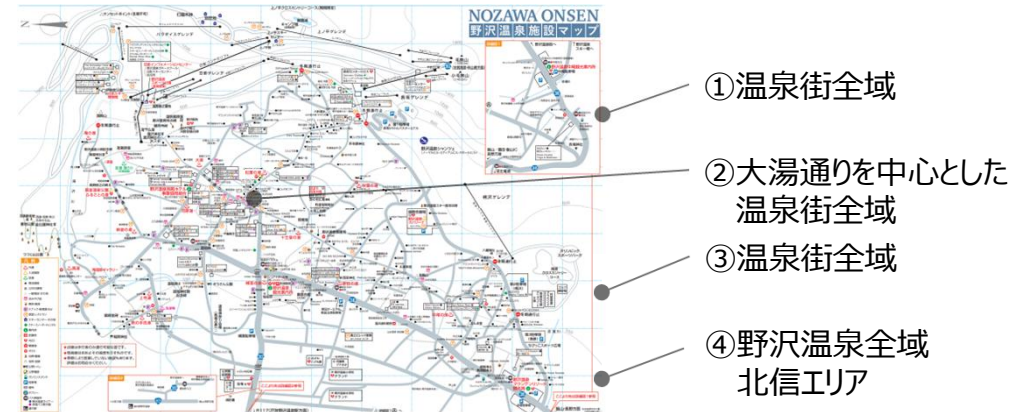
4. 対策の概要

目指す姿	カーフリービレッジによる村民ウェルビーイングの実現
KGI	(指標) 観光客と共存する住環境に対する村民の満足度
	目標値：90%(令和12年度) 実績値：35.4%(令和7年度)
<ul style="list-style-type: none"> 本計画は冬季シーズンに事業を実施する。事業開始前と開始後にアンケート調査を実施し、事業効果を把握していく予定である。 	

■ 補助事業の実施概要

需要の分散・平準化
<p>① 村内のスキー場シャトルバスの混雑状況の可視化と情報提供</p> <p>【背景・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬季限定で村内の中心地とスキー場を巡回するシャトルバスが運行しているが、ピークの時間帯では車内混雑により乗り切れない状況が発生している。 しかしこの状況をデータで把握できていないことから、車内カメラ等を設置し、混雑状況や乗降状況を把握する。 この結果を運行事業者に提供し、利用予定の方に事前に案内するなど、シャトルバス利用時間帯の平準化を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬季に運行するシャトルバスの混雑状況の可視化 運行事業者や利用者への情報提供

マナー違反の防止・抑制
<p>② マナー啓発のための動画作成と配信</p> <p>【背景・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に訪日外国人旅行者による、ごみのポイ捨て、夜間の騒音、レンタカーの違法駐車等のマナー問題が発生している。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみのポイ捨て、夜間の騒音、落書き、駐車マナーのほか、地域住民も利用する外湯の利用方法も含めて、マナーの意識啓発を図る英語の動画等を作成する。 動画は、野沢温泉ライナーの車内モニターに投影し、訪日外国人旅行者に対し、効果的に周知する。



調査・分析
<p>③ オーバーツーリズムの解消・緩和に向けた現状診断</p> <p>【背景・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野沢温泉村では、観光客が乗車するクルマの流入の状況や公共交通の混雑状況、また村民の観光客の受入環境の意向などが、数字で把握できていない実態がある。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> そこで、オーバーツーリズムの状況や地域内交通の現状診断を行うため、人流データの分析のほか、村内を出入りする車両の調査と、村民の観光客の受入環境等を把握するアンケート調査を実施する。

地域全体の観光地域づくりに関わる事業
<p>④ 野沢温泉におけるモビリティ将来構想の検討</p> <p>【背景・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 温泉街は狭い通りに飲食店が集中しており、歩いて楽しむ魅力があるが、車両交通量が多く車両と歩行者が混在する空間となっている。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> DMOを主体とし、地域の関係事業者と学識経験者が参画する協議会を組成、運営する。 専門家を招いて、地域内の観光・地域の交通事情を分析するとともに、勉強会等の開催を通じて、交通まちづくりの観点から、将来のあり方（DMOが掲げるカーフリーリゾート）を提示し、関係者との共有を図る。 地域交通の現状診断結果を踏まえ、有効と考えられるオーバーツーリズム対策やモビリティ施策について関係者と議論し、実効性ある対策計画を立案する。 将来的には、村内中心地へのクルマの乗り入れを制限し、人中心の道路空間とすることで、村民のウェルビーイングを高め、環境にもやさしいカーフリーリゾートを目指すことを検討する。

KGI：観光客と共存する住環境に対する村民の満足度

- 測定手法：村民へのアンケート
- 現状値：35.4%（令和7年度）
- 目標値：90%（令和12年度）

野沢温泉におけるモビリティ将来構想の検討

KPI：住民の対策計画に対する認知度

- 年度内：50%（令和7年度）
- 中期：80%（令和9年度）

NOZAWA ONSEN 野沢温泉施設マップ

マナー啓発のための動画作成と配信

KPI：村民の観光客受入環境に対する意向のうち、マナー違反に対する不満の割合

- 年度内：30%（令和7年度）
- 中期：10%（令和9年度）

公共交通事業の担い手不足、自動車来訪の増加

特に訪日外国人旅行者による、ごみのポイ捨て、夜間の騒音（夜飲みによる深夜の大声での会話）、レンタカーの違法駐車による除雪の妨げなどが発生

オーバーツーリズムの解消・緩和に向けた現状診断

KPI村民の観光客受入環境に対する意向のうち、混雑に対する不満の割合

- 年度内：30%（令和7年度）
- 中期：10%（令和9年度）

新幹線発着駅から運行するシャトルバス「野沢温泉ライナー」の混雑（乗り切れない状況も発生）

村内のスキー場シャトルバスの混雑状況の可視化と情報提供

KPI：バス停での積み残し回数

- 年度内：年間16回（令和7年度）
- 中期：年間7回（令和9年度）

★点線は歩行者のみ通行可能な道です。
★等高線はおおよそその高度を示すものです。
★季節により営業していない施設もあります。
詳細はお問合せください。

5-①. 主な取組（詳細）

受入環境の整備・増強

補助事業①	村内のスキー場シャトルバスの混雑状況の可視化と情報提供		
事業目的	冬季に運行するシャトルバスの混雑状況の可視化と、運行事業者や利用者への情報提供		
実施主体	一般社団法人 野沢温泉マウンテンリゾート観光局	実施期間	令和7年10月～令和8年2月

【背景・課題】

- 冬季限定で村内の中心地とスキー場を巡回するシャトルバスが運行されているが、ピークの時間帯では車内混雑により乗り切れない状況が発生している。しかしこの状況は、事象として関係者に認識されているものの、データなどで客観的に把握できておらず、具体的な対策を検討できない状況である。
- 村内の観光客が主に利用する公共交通の中でも混雑状況をデータで把握できていないのが本シャトルバスであることから、本事業を選定した。

【事業内容】

- バス車内に定点カメラ（ドライブレコーダー）等を取り付け、運行中の車内状況を撮影、各便の混雑状況や乗降人数を把握・集計する。
- その上で、乗り切れない状況が発生する時間帯やバス停などの傾向を分析し、運行事業者や利用者へ混雑状況について情報提供する。
- 冬季シーズン開始前（～12月）までに調査の実施計画を策定、シーズン初期（1月）に調査を実施、シーズン中盤（2月）に情報提供の実験を行い、シャトルバス利用時間帯の平準化を図る。

【推進ポイント】

- 利用者へ事前の情報提供をするが、混雑による不便改善の有効な手段であるかを判断するためにも、調査結果から明らかな混雑の傾向を把握し、運行事業者の理解・協力を得ることがポイントとなる。



◀ 冬季シャトルバスを待つ観光客の待ち行列の状況



◀ シャトルバスのバスロケーション提供（表示は日本語のみ、混雑状況などは提供されていない）

補助事業①

村内のスキー場シャトルバスの混雑状況の可視化と情報提供

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名 バス停での積み残し回数

令和7年度に掲げた目標値

- 16回

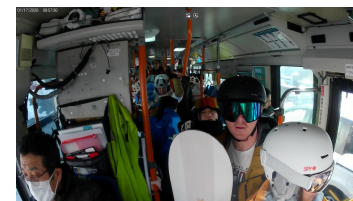
事業の成果/目標の検証結果

- 1回/日 (現状値のみ本事業にて把握)

成果の詳細

- 指標とした「バス停での積み残し」は、調査日では1便のみの発生だったが、滞在日数の長い訪日外国人のスキー客と、休日に訪れる国内スキー客の来訪が重なる、連休や日曜日は、より混雑や積み残しが発生する可能性が高いことを、バスドライバー等からのヒアリングにより把握した。
- これまで混雑実態が定量的に把握されていなかった状況から、本調査によって明らかにすることができた。
- また車内混雑緩和に向けた改善ポイントを示すことができた。

バス車内の混雑状況



各便・各区間の車内混雑 (HPは非公開)

区間	便数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数	乗客数
11:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
11:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
11:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
11:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
12:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
12:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
12:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
12:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
13:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
13:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
13:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
13:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
14:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
14:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
14:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
14:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
15:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
15:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
15:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
15:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
16:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
16:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
16:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
16:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
17:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
17:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
17:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
17:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
18:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
18:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
18:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
18:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
19:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
19:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
19:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
19:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
20:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
20:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
20:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
20:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
21:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
21:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
21:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
21:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
22:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
22:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
22:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
22:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
23:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
23:15	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
23:30	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
23:45	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
24:00	1	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25

■ :25人 乗客可能 ■ :25~40人 立ち乗車あり、移動可能
■ :40~50人 立ち乗車あり、身動き取りにくい
■ :50人~ 身動きとれず、これ以上乗車できず

令和7年度事業を踏まえた継続課題

データ収集・分析

- 車内混雑は日取りや曜日によって混雑状況が変動するため一般化するのが難しく、継続的な観測やリアルタイム情報の取得が望まれる。
- 混雑分散を図る情報提供は、お願いベース（利用者の自主的な行動変容を促す）での案内では、平準化の効果は限定的と推測される。
- そのためサービス供給面での混雑緩和対策として、運行便数の増加、運行間隔の平準化、運行ルートの変更、リアルタイム情報の取得による関係者間の情報連携などの施策について検討の余地があるといえる。

令和8年度以降の方針

データ収集・分析

- 人流、車両データを継続的に取得し、混雑状況を把握する。
- シャトルバスドライバー、駐車場運営スタッフ、スキー場マイクロバスドライバーが混雑状況を共有し連携できるシステムを構築する。

受入環境の整備・増強

補助事業②	マナー啓発のための動画作成と配信		
事業目的	訪日外国人旅行者の村内滞在時のマナー向上		
実施主体	一般社団法人 野沢温泉マウンテンリゾート観光局	実施期間	令和7年10月～令和8年2月
<p>【背景・課題】 外国人のマナー問題は、村民の暮らしと観光客のおもてなし環境に影響を及ぼしており、喫緊に対策が必要であることから、本事業を選定した。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみのポイ捨て、夜間の騒音、落書き、駐車マナーのほか、地域住民も利用する外湯の利用方法も含めて、マナーの意識啓発を図る動画を作成する。 冬季シーズン開始（12月～）に間に合わせるため、11月までに動画などの作成と配信準備を終える。 <p>【推進ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画コンテンツ作成にあり、外国人のマナー違反行為による実情を訴えるため、村民や観光事業者へのヒアリングにより、リアルな実情報（例えば、飲み終わった瓶を雪に突っ込んで帰り、除雪時に瓶が割れて飛び散り危ない、など）を聞き取り、実情に即したマナー啓発動画とする。 各地のルール（ニセコ・白馬）を確認し、掲載内容に留意する。 <ul style="list-style-type: none"> ・倶知安町暮らしのマナー https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/Living_Information/kurasi_kankyoutaisaku/5513/ ・ニセコマナー向上キャンペーン https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1269717/ ・白馬村マナー条例 https://www.vill.hakuba.lg.jp/material/files/group/2/manazyoureiseitei.pdf 			

5-②. 成果及び今後に向けて

補助事業②

マナー啓発のための動画作成と配信

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名

村民の観光客受入環境に対する意向のうちマナー違反に対する不満足割合

令和7年度に掲げた目標値

- 30% (令和7年度) 10% (令和9年度)

事業の成果/目標の検証結果

- 58.2% (令和7年度)

成果の詳細

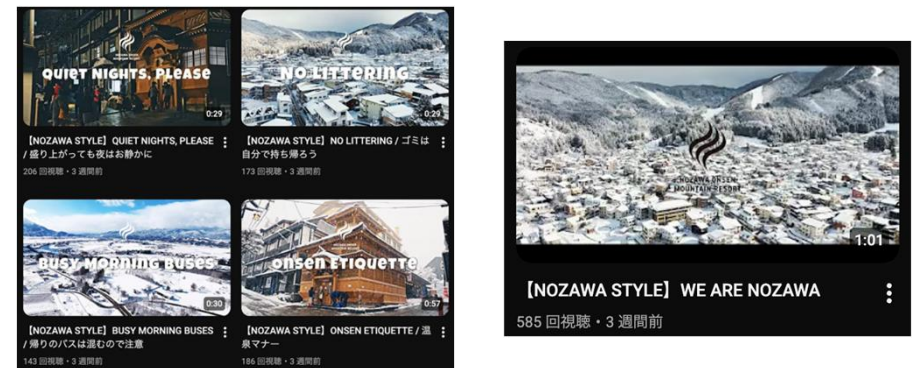
訪日外国人専門家、関係者を含めた検討の会議体を設け、複数回の検討ののちに、マナー啓発のテーマを設定した。

「Quiet Night Please」「No Littering」「Busy Morning Buses」「Onsen Etiquette」として、個別で表現できる形式として制作した。

Youtube Facebook Instagramをはじめ関係HPなどで周知、Instagramにて3,000いいねなどを得た。

マナー啓発映像作成者に対して、地域側が細かなディレクションを行ったことにより、地域の事情を正確に反映した映像となった。

禁止ばかりをアピールするのではなく、レスポンスブルトラベルとしての表現を行うことができた。



作成マナー啓発動画のyoutubeサムネイル

令和7年度事業を踏まえた継続課題

- 特になし

令和8年度以降の方針

- 観光産業の維持・オーバーツーリズム対策**
 - 住民感情の推移把握と、対応の柔軟化
 - 旅行会社に対する、入域誓約書の導入検討
- その他**
 - ウィンターシーズンが終わった後のアンケート調査の実施
 - 観光マスタープランにおける取組事項の検討

5-③. 主な取組（詳細）

受入環境の整備・増強

補助事業③	オーバーツーリズムの解消・緩和に向けた現状診断		
事業目的	来訪ピークや地域内交通の実態把握と現状診断		
実施主体	一般社団法人 野沢温泉マウンテンリゾート観光局	実施期間	令和7年10月～令和8年2月

【背景・課題】

データによる実態把握がなされておらず、地域全体の観光地域づくりに関わる事業において地域協議を円滑に進めるためにも、調査実施とその分析が必要となることから、本事業を選定した。

【事業内容】

村では、観光客が乗車するクルマの流出入の状況や公共交通の混雑状況、村民の観光客の受入意向などを、数字で把握できていないのが実態である。そこで、オーバーツーリズムの状況や地域内交通の現状診断を行うため、人流データの分析、村内を出入りする車両の調査、村民の観光客の受入環境等を把握するアンケート調査を実施し、観光客のピーク時間帯や日常生活行動への影響を把握した。村民へのアンケート調査は冬季シーズンが始まる前の11月、車両の調査はシーズン中（1月）に実施した。

【推進ポイント】

村民アンケートではオーバーツーリズム対策のKGI・KPIの現状値を把握するほか、村民の日常的な外出行動を尋ね、オーバーツーリズムによる影響、地域内交通の意向等を把握し、将来的に村が地域公共交通の維持・確保に取り組むきっかけとなる調査内容とすることで、村の協力・理解を得て、調査を実施した。車両の調査は、村民の車や観光客のレンタカー等の判別を画像解析技術を試験的に活用し、令和8年度以降、カーフリービレッジの実現に向けた交通需要マネジメントを検討する際に、常時の車両観測のきっかけづくりとした。



◀ 村内中心地への
アクセス道路となる県道



◀ 村民の日常の移動手段
にもなっている「野沢温泉ラ
イナー」（平日朝の利用）

